

エプソンの統合型会計ソフト

# 財務応援 Ai 企業会計

財務応援 Ai 企業会計—財務 R4 コンバーター

## 財務応援 Ai-R4 事前チェックツール利用手順

財務応援 Ai-R4 事前チェックツールは、財務応援 Ai 企業会計の企業データを財務 R4 へコンバートする前に、対象のデータの勘定科目・合計科目・決算書科目の設定に問題がないか簡易確認を行うツールです。

本書では、財務応援 Ai-R4 事前チェックツールの利用手順と、チェックにより対象のデータが正しく会社法変換されていない場合の財務応援 Ai 企業会計で会社法変換を行う手順をご案内いたします。

# 目次

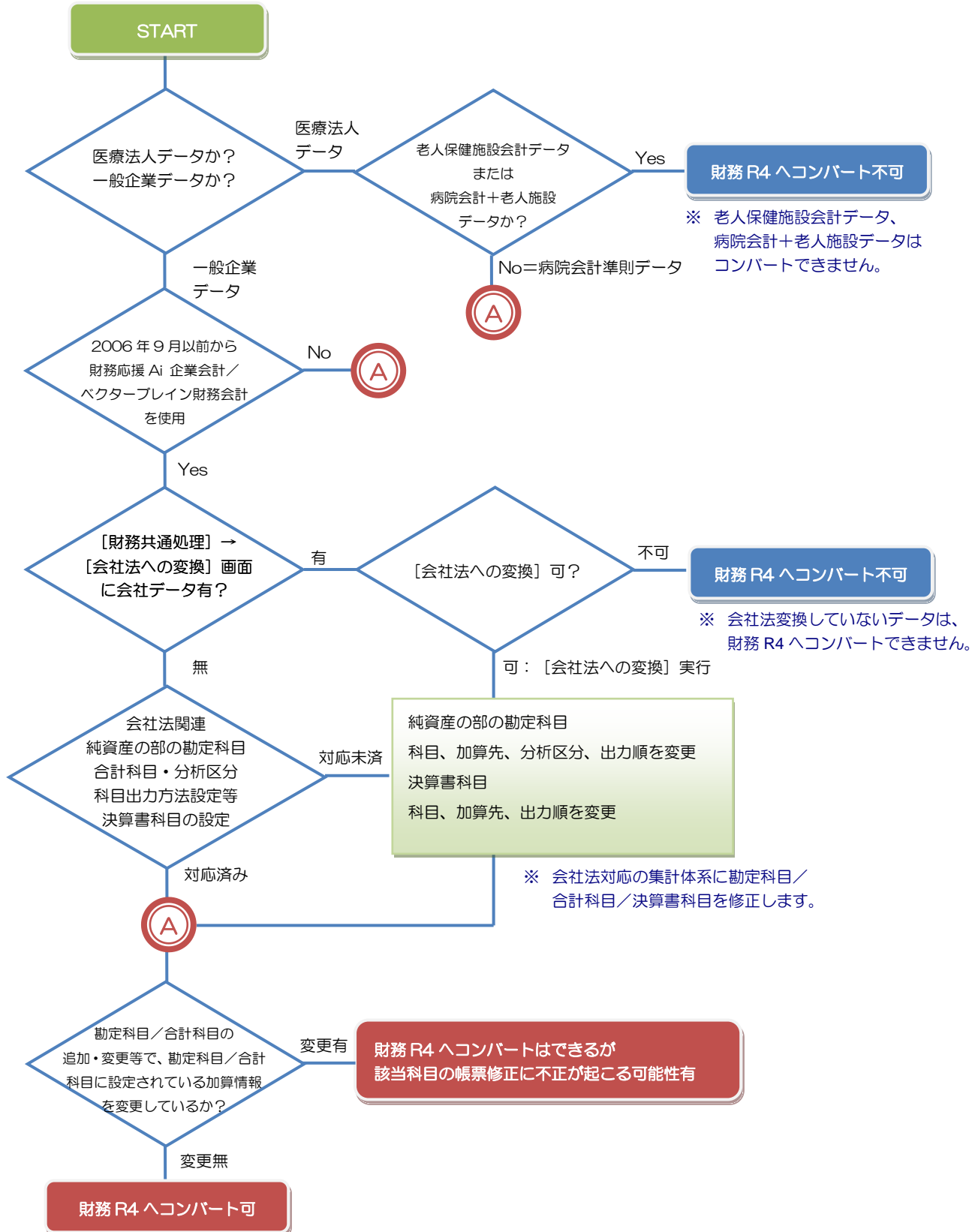
財務応援 Ai-R4 事前チェックツールの利用手順、および、財務応援 Ai 企業会計で会社法変換を行う手順をご説明します。

はじめに	2
財務応援 Ai-R4 事前チェックツールの利用手順	4
2.1 システムの起動	4
2.2 システムの終了	4
2.3 アンインストールする場合は	4
2.4 財務応援 Ai-R4 事前チェックツールの利用手順	4
◆ 会社選択	4
◆ Ai-R4 事前チェック	5
2.5 財務応援 Ai-R4 事前チェックツールの出力結果	6
◆ Excel ファイルの概要	6
◆ 勘定科目・合計科目の確認「結果」	7
◆ 会社法対応が実施されている一般法人データ、医療法人データで確認が必要な事例	8
◆ 一般法人データ 決算書出力パターン別移行可能結果	10
会社法変換の手順	11
3.1 会社法変換前のデータを会社法変換する	11
3.2 科目追加・変更、分析区分変更	13
◆ 合計科目	13
◆ 勘定科目	15
3.3 科目出力方法設定	16
3.4 決算書科目設定	18
◆ 集約パターン5を決算書科目として使用する場合	18
◆ 集約パターン5以外の決算書を決算書科目として使用する場合	19
3.5 キャッシュフロー計算書	27

# 1

## はじめに

財務 R4 へコンバートする財務応援 Ai 企業会計データは、次のような条件でコンバート可能と判断します。



前述の記載より、財務 R4 コンバーターでは、以下の① ②が対応された企業データを「会社法変換されたデータ」とみなし、医療法人のデータは③に該当する会計データをコンバート可能としています。

- ① 財務応援 Ai 企業会計の「会社法への変換」が完了している一般企業データ（一般法人データ）であること
- ② 「会社法への変換」後に純資産の部の勘定科目、合計科目、分析区分、科目出力方法設定等、決算書科目が正しく設定されていること
- ③ 「エプソン（医療：病院会計準則）」データを基に作成された医療法人データであること

財務応援 Ai 用 チェックツールを使用することで、財務応援 Ai 企業会計のデータを財務 R4 へコンバートする前に、対象のデータの勘定科目・合計科目・決算書科目（一般法人の場合）の設定に問題がないか確認を行うことができます。



注意

- ◆ 財務応援 Ai 企業会計—財務 R4 コンバーターでは、科目設定の「分析区分」を科目の性質としてコンバートの判断に使用しています。  
上記の一般法人データでの会社法対応で影響のある「純資産の部」の例 以外にも、コピー科目を追加する際、類似した「分析区分」の科目を元に作成していない場合は、コンバート後の財務 R4 システムの帳票が正しく表示されない場合があります。
- ◆ チェックツールでは、科目が類似した分析区分で作成されているか、集約体系が正しく設定されているかを確認することができます。

## 2

# 財務応援 Ai-R4 事前チェックツールの利用手順

財務応援 Ai-R4 事前チェックツールは、以下の手順でご利用いただけます。

## 2.1 システムの起動

セットアップが終了すると、デスクトップに当システムのショートカットが作成されます。ショートカットをダブルクリックすると、当システムが起動します。

※ 財務応援 Ai-R4 事前チェックツールは、Excel が起動していないことを確認してから、起動してください。



Ai-R4事前チェック

## 2.2 システムの終了

当システムを終了するときは、終了の操作の前に、チェック時に作成された Excel ファイルをすべて終了してください。

[終了] を選択するか、タイトルバーの右端にある [×] ボタンをクリックすると、当システムが終了します。

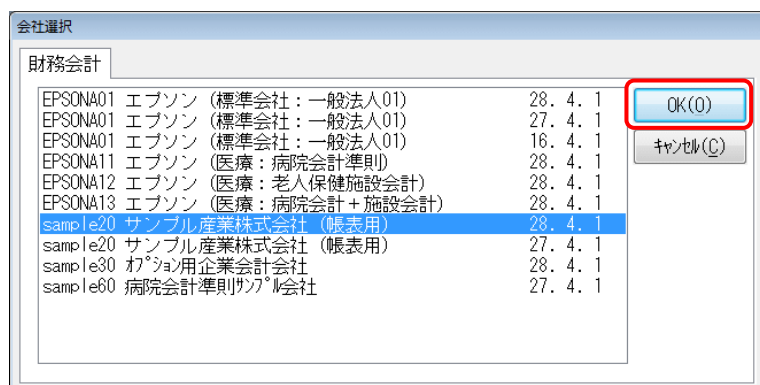
## 2.3 アンインストールする場合は

[コントロールパネル] →プログラムの [プログラムのアンインストール] を選択し、「EPSON Ai-R4 事前チェック」を選択して [アンインストール] をクリックします。

## 2.4 財務応援 Ai-R4 事前チェックツールの利用手順

### ◆ 会社選択

財務応援 Ai-R4 事前チェックツールを起動すると、以下の会社選択画面が表示されます。



チェックしたい会社を選択して [OK] をクリックします。

## コンバート対象データチェック

会社データが次のケースに該当する場合は、メッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は、以降の処理でチェックを「実行」することができません。

### ■ コンバート対象外のデータ

以下のデータは、この先のチェックを実行することはできません。

- ① 残高合併会社
- ② 「老人保健施設会計」または「病院会計+施設会計」データを元に作成したデータ
- ③ 会社法未変換データ（一般法人データのうち、〔財務共通処理〕→〔会社法への変換〕に表示されるデータ）

### ■ コンバート時に伝票の状態を確認する必要があるデータ

以下のデータは、この先のチェックを実行できますが、移行時注意が必要です。

- ④ 仮伝票があり、伝票承認が完了していないデータ



注意

「③会社法未変換データ」の場合は、会社法変換を実施すると財務 R4 へのデータの移行が可能です。次の説明を確認し、会社法対応を実施するか判断ください。

- ◆ 「「会社法未変換」のデータのためコンバートできません。」または「「会社法変換途中」のデータです。コンバートできません。」と表示される場合は、「3.1 会社法変換前のデータを会社法変換する」以降の説明に従い、〔会社法への変換〕、科目設定、決算書科目設定を行ってから、チェックツールを実行してください。
- ◆ 会社法変換を行うと管理帳票や決算書の表示が変更されます。会社法変換前の状態で帳票や決算書を印刷する必要がある場合は、会社法変換を行わないでください。ただし、財務 R4 システムへのコンバートはできません。

「①残高合併会社」の場合は、残高合併伝票を削除しないと R4 へのデータの移行ができません。チェックツールを利用し科目体系を確認する場合は、以下のいずれかの方法で確認ができます。

- ◆ 残高合併伝票を削除する
- ◆ 〔財務共通処理〕-〔会社登録・削除〕で残高合併会社を選択した状態で〔会社作成〕、同じ科目体系の会社を作成し、新規作成した会社をチェックツールで確認する。（稼働中の会社の残高合併伝票を変更することなくチェック可能）

## Ai-R4 事前チェック

会社選択画面で「OK」をクリックすると、以下の Ai-R4 事前チェック画面が表示されます。

「実行」をクリックすると、勘定科目等をチェックした結果が Excel ファイルに出力されます。

「保存先」をクリックして、Excel ファイルの保存先を指定後、「実行」をクリックしてください。

上記①～③理由によりコンバート対象外データの場合は、「実行」がクリックできません。

項目	内容
[終了]	財務応援 Ai-R4 事前チェックツールを終了します。
[実行]	<p>チェックした結果を Excel ファイルに出力します。処理が終了すると Excel ファイルが自動で表示されます。</p> <p>※ 会社選択で「OK」をクリックしたとき、上記①～③の理由によりメッセージが表示された場合は、「実行」をクリックすることはできません。「終了」でシステムを終了し、財務応援 Ai 企業会計の設定を変更してください。</p>

項目	内容
[会社選択]	会社選択画面に戻ります。
[マニュアル]	本マニュアルが表示されます。
[バージョン]	バージョン表記
会社コード・会社名	選択している会社コード、会社名、期首年月日が表示されます。
保存先	クリックすると、保存先を変更することができます。青枠に選択した保存先が表示されます。 初期値：¥EPSON¥KAIKEI¥TEMP¥Ai-R4 事前チェック (会社コード Hyyymmdd) .xlsx
出力する科目	設定されている勘定科目を「科目使用：する」ものだけに絞り込んで表示する場合は「使用する科目のみ」を選択します。通常は「全科目」を選択してください。

## 2.5 財務応援 Ai-R4 事前チェックツールの出力結果

### Excel ファイルの概要

Excel ファイルは、最初に勘定科目・合計科目の設定の確認結果が「結果」として表示し、一般法人データの場合は、勘定科目・合計科目一覧の下に決算書科目設定の確認結果が「○×」表示されます。

Ai-R4事前チェック

結果： × 加算1の見直しが必要です(1件)。

コード	科目名	分析区分	簿籍(科目)	分析区分	加算1	分析区分	本来の加算先
111	テスト会社						
9011	【現金及び預金】	1210	現金	1230	9013 (当座資産)	1230	当座資産
101	現金	101	現金	1120	9002 (当座預金)	1110	現金
102	小口現金	102	小口	1110	9001 (現金)	1110	現金
103	小切手	103	小切	1110	9001 (現金)	1110	現金
9001	【現金】	1110	現金	1210	9011 (現金及び預金)	1210	現金及び預金
111	当座預金	111	当座預金	1120	9002 (当座預金)	1120	当座預金
112	当座預金2	○ 111	当座預金	1120	9002 (当座預金)	1120	当座預金
113	当座預金3	○ 111	当座預金	1120	9002 (当座預金)	1120	当座預金
114	当座預金4	○ 111	当座預金	1120	9002 (当座預金)	1120	当座預金
115	当座預金5	○ 111	当座預金	1120	9002 (当座預金)	1120	当座預金
9002	【当座預金】	1120	当座預金	1180	9006 (流動性預金)	1180	流動性預金
121	普通預金	121	普通預金	1130	9003 (普通預金)	1130	普通預金
199	普通預金2	191	普通預金	1130	9003 (普通預金)	1130	普通預金

「○」：コピー科目

先頭「#」グレー表示：「科目使用：しない」科目

チェック結果

勘定科目/合計科目の科目別チェック内容

~~~~~ 省略 ~~~~~

### 一般法人データの場合のみ表示

一般法人の場合、決算書科目に下記の科目が存在するかチェックします(会社法変更されているかのチェックです)。  
株主資本(合計3)、その他利益剰余金(合計1)、評価・換算差額等(合計3)  
繰延ヘッジ損益、新株予約権

【チェック結果】

|      |   |      |   |      |   |
|------|---|------|---|------|---|
| 報告式1 | ○ | 勘定式1 | ○ | 比較式1 | ○ |
| 報告式2 | ○ | 勘定式2 | ○ | 比較式2 | ○ |
| 報告式3 | ○ | 勘定式3 | ○ | 比較式3 | ○ |
| 報告式4 | ○ | 勘定式4 | ○ | 比較式4 | ○ |
| 報告式5 | ○ | 勘定式5 | ○ | 比較式5 | ○ |

決算書の出力パターン別移行可能結果を表示  
現在使用している決算書のパターンが「○」になっていれば問題ありません。

## 勘定科目・合計科目の確認「結果」

Excel ファイルの最初に勘定科目・合計科目の設定の確認結果が「結果」として表示されます。

設定内容に問題がない場合は、「◎ 問題ありません。」と表示されます。

Ai-R4事前チェック

結果： ◎ 問題ありません。

111 テスト会社

自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日

Excel ファイルの「結果」として表示される内容は次の通りです。

| No. | 「結果」に表示されるメッセージ一覧                                                          | 内容概要                                                                                                         |
|-----|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | ◎ 問題ありません。                                                                 | 科目体系に問題はありません。                                                                                               |
| 2   | ○ 科目の分析区分を確認してください(xxx 件)。                                                 | 設定されている科目名称と分析区分の内容が一致しない科目が存在します。                                                                           |
| 3   | × 加算1の見直しが必要です(xxx 件)。                                                     | 勘定科目または、合計科目の加算先が標準体系と異なる科目、設定されている科目名称と分析区分の内容が一致しない科目が存在します。                                               |
| 4   | △ 「会社法変換途中」のデータです。コンバート前に会社法対応の科目追加・変更してください。                              | 一般企業法人データで会社法対応の科目追加・変更、分析区分変更が済んでいません。<br>会社法に対応した科目の追加・変更を実施する必要があります。<br>「3.2 科目追加・変更、分析区分変更」以降を実施してください。 |
| 5   | △ 「会社法変換途中(繰延ヘッジ損益等の科目なし)」のデータです。コンバート前に会社法対応の科目追加・変更してください。               |                                                                                                              |
| 6   | × 「会社法変換されていない(株主資本(分析区分:1496)なし)」データです。コンバート前に会社法対応の科目追加・変更してください。        |                                                                                                              |
| 7   | × 「会社法変換途中」のデータです。コンバート前に会社法対応の科目追加・変更と加算1の見直しが必要です(xxx 件)。                |                                                                                                              |
| 8   | × 「会社法変換途中(繰延ヘッジ損益等の科目なし)」のデータです。コンバート前に会社法対応の科目追加・変更と加算1の見直しが必要です(xxx 件)。 |                                                                                                              |

No.1～3のメッセージは、会社法対応がすべて完了している企業会計データまたは、病院会計準則データの場合に表示されます。

No.4～8のメッセージは、会社法対応が完了していない企業会計データの場合に表示されます。会社法対応の「3.2 科目追加・変更、分析区分変更」～「3.4 決算書科目設定」(キャッシュフロー使用時は「3.5 キャッシュフロー計算書」)の科目追加/変更を実施してください。

結果表示は、科目体系を変更し再度チェックを実行すると順次メッセージが変化します。No.1～3のメッセージ表示になるまで、科目体系を見直さないとうまくコンバートできませんので、移行前に必ず修正を実施してください。



注意

◆ 会社法対応の科目が存在しないと、「No.4～8」のメッセージを表示されます。R4へのデータ移行後に科目集計がおかしくなりますので追加・変更する科目が、使用しない科目であっても、必ず変更・設定してください。「コンバート後、見直しが必要です。」と表示されるメッセージの場合もありますが、Ai側で修正すると移行後の確認が楽になります。Ai側であらかじめ修正を実施してください。



**会社法対応が実施されている一般法人データ、医療法人データで確認が必要な事例**

一般法人データで会社法対応が済んでいるまたは、医療法人データの場合で科目の確認が必要な場合に表示されるメッセージは、以下の2通りです。

| 「結果」に表示されるメッセージ一覧         | 内容概要                                                      |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------|
| ○ 科目の分析区分を確認してください(xxx件)。 | 設定されている科目名称と分析区分の内容が一致しない科目が存在します。                        |
| × 加算1の見直しが必要です(xxx件)。     | 勘定/合計科目の加算先が標準体系と異なる科目、設定されている科目名称と分析区分の内容が一致しない科目が存在します。 |

**事例1 ○科目の分析区分を確認してください (xxx件)。**

| 結果: ○ 科目の分析区分を確認してください (2件)。 |              | 自平成28年 4月 1日 至 平成28年 3月31日 |         |         |      |                   |      |          |  |
|------------------------------|--------------|----------------------------|---------|---------|------|-------------------|------|----------|--|
| コード                          | 科目名          | pt                         | 分析区分    | 候補(初選)  | 分析区分 | 加算1               | 分析区分 | 本来の加算先   |  |
| 758                          | 貸借料          | 688                        | 貸借料     |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 782                          | レンタル代        | 686                        | 貸借料     | 《確認》    | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 759                          | 支払保険料        | 687                        | 支払保険料   |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 780                          | 修繕費          | 688                        | 修繕費     |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 781                          | 租税公課         | 689                        | 租税公課    |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 782                          | 減価償却費        | 690                        | 減価償却費   |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 763                          | 接待交際費        | 691                        | 接待交際費   |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 764                          | 旅費交通費        | 692                        | 旅費交通費   |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 785                          | 通信費          | 694                        | 通信費     |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 781                          | 通信費(モバイルカード) | 709                        | その他管理費  | 674 通信費 | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 786                          | 支払手数料        | 695                        | 支払手数料   |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 787                          | 会議費          | 696                        | 会議費     |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 788                          | 諸会費          | 698                        | 諸会費     |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 789                          | 寄付金          | 699                        | 寄付金     |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 770                          | 図書教育費        | 700                        | 図書教育費   |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 771                          | 試験研究費        | 701                        | 試験研究費   |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 772                          | その他管理費       | 709                        | その他管理費  |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 773                          | 貸倒引当金繰入      | 711                        | 貸倒引当金繰入 |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 774                          | 雑費           | 712                        | 雑費      |         | 1720 | 0115 [一般管理費]      | 1720 | 一般管理費    |  |
| 9115                         | [一般管理費]      | 1720                       | 一般管理費   |         | 1730 | 0118 [販売費及び一般管理費] | 1730 | 販売費及び一般管 |  |

「科目名」が「分析区分」と一致している科目が他に存在している場合に「候補」として表示します。  
 この場合、加算先1にエラー(ピンクの網掛け)が出ていない場合は、そのまま移行して問題ありません。但し、R4に移行した際の科目の作成性質は、「分析区分」の性質で移行されます。  
 (この例では、「その他管理費」の性質で移行されます)

「科目名」と科目の「分析区分」から判断される本来の科目名称と一致しない場合は《確認》が表示されます。  
 コピー科目等で科目名称に問題がなければ、科目名称を変更する必要はありません。

事例2 × 加算1の見直しが必要です(×××件)。

| 結果:  |            | × 加算1の見直しが必要です(3件)。 |               |         |      | 自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 3月31日 |      |         |
|------|------------|---------------------|---------------|---------|------|-----------------------------|------|---------|
| コード  | 科目名        | pt                  | 分析区分          | 候補(初当分) | 分析区分 | 加算1                         | 分析区分 | 本来の加算先  |
| 9011 | 【現金及び預金】   |                     | 1210 現金及び預金   |         | 1230 | 8013 【当座資産】                 | 1230 | 当座資産    |
| 101  | 現金         |                     | 101 現金        |         | 1110 | 1002 【現金+小口】                | 1110 | 現金      |
| 102  | 小口現金       |                     | 102 小口現金      |         | 1110 | 1002 【現金+小口】                | 1110 | 現金      |
| 1002 | 【現金+小口】    | ○                   | 1110 現金       |         | 1110 | 8001 【現金】                   | 1210 | 現金及び預金  |
| 103  | 小切手        |                     | 103 小切手       |         | 1110 | 8001 【現金】                   | 1110 | 現金      |
| 9001 | 【現金】       |                     | 1110 現金       |         | 1110 | 8011 【現金及び預金】               | 1210 | 現金及び預金  |
| 9110 | 【当期製品製造原価】 |                     | 1630 当期製品製造原価 |         | 1540 | 9111 【売上原価】                 | 1640 | 売上原価    |
| 801  | 期首材料棚卸高    |                     | 531 期首材料棚卸高   |         | 540  | 8104 【材料費】                  | 1540 | 材料費     |
| 802  | 材料仕入高      |                     | 532 材料仕入高     |         | 540  | 8104 【材料費】                  | 1540 | 材料費     |
| 803  | 材料仕入高2     | ○                   | 532 材料仕入高     |         | 540  | 8104 【材料費】                  | 1540 | 材料費     |
| 804  | 材料戻し高      | ○                   | 532 材料戻し高     | 【確認】    | 1540 | 8104 【材料費】                  |      |         |
| 809  | 期末材料棚卸高    |                     | 534 期末材料棚卸高   |         | 1540 | 8104 【材料費】                  | 1540 | 材料費     |
| 9104 | 【材料費】      |                     | 1540 材料費      |         | 1610 | 8108 【当期総製造費用】              | 1610 | 当期総製造費用 |
| 881  | 租税公課       |                     | 971 租税公課      |         | 1800 | 9107 【製造経費】                 | 1800 | 製造経費    |
| 882  | 減価償却費      |                     | 972 減価償却費     |         | 1800 | 9107 【製造経費】                 | 1800 | 製造経費    |
| 884  | 旅費交通費      |                     | 973 旅費交通費     |         | 1800 | 9107 【製造経費】                 | 1800 | 製造経費    |
| 885  | 通信費        |                     | 974 通信費       |         | 1800 | 9107 【製造経費】                 | 1800 | 製造経費    |
| 9107 | 【製造経費】     |                     | 1800 製造経費     |         | 1610 | 8108 【当期総製造費用】              | 1610 | 当期総製造費用 |
| 9110 | 【当期製品製造原価】 |                     | 1630 当期製品製造原価 |         | 1640 | 9111 【売上原価】                 | 1640 | 売上原価    |

「加算先1」が、本来の設定と一致しない(正しくない)場合は、ピンクの網掛けで表示されます。本来の科目「加算先1」の分析区分を右に表示しています。

A i 基本合計科目を元に作成(コピー)の「合計科目」は「加算先1」が、元科目と一致しない場合に「網掛け」表示になります

コピー「合計科目」の場合は、コピー元の合計科目に科目集計約されているか、A i の「科目設定」の内容を確認してください。コピー元に集約されていれば変更する必要はありません。

(この例では、「合計科目 9001」を元に「合計科目 1002」を作成、1002 は 9001 に集計されているので、問題なし)

「勘定科目」の「貸借性質」を本来の科目の「貸借性質」と一致しない場合は、「分析区分」/「本来の加算先」が「空欄」、「加算先1」が「網掛け」表示になります。

この場合は、R4コンバート後に、科目の貸借性質・貸借発生の表示内容を確認してください。

(この例では、「貸借性質：借方」の科目を元にコピー科目作成、そのコピー科目の「貸借性質：貸方」に変更しています。移行後、貸借発生残高を確認します。)

事例3 × 加算1の見直しが必要です (xxx件)。

分析区分チェック

結果: × 加算1の見直しが必要です (1件)。

CK002 加算先確認会社 自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日

| コード  | 科目名     | pt*  | 分析区分    | 候補(オリジナル) | 分析区分 | 加算1              | 分析区分 | 本来の加算先   |
|------|---------|------|---------|-----------|------|------------------|------|----------|
| 666  | 支払手数料   | 575  | 支払手数料   |           | 1600 | 9107 [製造経費]      | 1600 | 製造経費     |
| 667  | 会議費     | 576  | 会議費     |           | 1600 | 9107 [製造経費]      | 1600 | 製造経費     |
| 668  | 諸会費     | 577  | 諸会費     |           | 1600 | 9107 [製造経費]      | 1600 | 製造経費     |
| 670  | 図書教育費   | 578  | 図書教育費   |           | 1600 | 9107 [製造経費]      | 1600 | 製造経費     |
| 671  | 試験研究費   | 579  | 試験研究費   |           | 1600 | 9107 [製造経費]      | 1600 | 製造経費     |
| 672  | その他製造経費 | 584  | その他製造経費 |           | 1600 | 9107 [製造経費]      | 1600 | 製造経費     |
| 674  | 雑費      | 583  | 雑費      |           | 1600 | 9107 [製造経費]      | 1600 | 製造経費     |
| 9107 | [製造経費]  | 1600 | 製造経費    |           | 1610 | 9108 [当期総製造費用]   | 1610 | 当期総製造費用  |
| 753  | 水道光熱費   | 681  | 水道光熱費   |           | 1720 | 9115 [一般管理費]     | 1720 | 一般管理費    |
| 754  | 車両関連費   | 682  | 車両関連費   |           | 1720 | 9115 [一般管理費]     | 1720 | 一般管理費    |
| 756  | 事務用消耗品費 | 683  | 事務用消耗品費 |           | 1720 | 9115 [一般管理費]     | 1720 | 一般管理費    |
| 757  | 消耗品費    | 684  | 消耗品費    |           | 1720 | 9115 [一般管理費]     | 1720 | 一般管理費    |
| 758  | 賃借料     | 686  | 賃借料     |           | 1720 | 9115 [一般管理費]     | 1720 | 一般管理費    |
| 759  | 支払保険料   | 687  | 支払保険料   |           | 1720 | 9115 [一般管理費]     | 1720 | 一般管理費    |
| 781  | 支払保険料2  | 589  | 支払保険料   |           | 1720 | 9115 [一般管理費]     | 1600 | 製造経費     |
| 772  | その他管理費  | 709  | その他管理費  |           | 1720 | 9115 [一般管理費]     | 1720 | 一般管理費    |
| 773  | 貸倒引当金繰入 | 711  | 貸倒引当金繰入 |           | 1720 | 9115 [一般管理費]     | 1720 | 一般管理費    |
| 774  | 雑費      | 712  | 雑費      |           | 1720 | 9115 [一般管理費]     | 1720 | 一般管理費    |
| 9115 | [一般管理費] | 1720 | 一般管理費   |           | 1730 | 911 [販売費及び一般管理費] | 1730 | 販売費及び一般管 |

「勘定科目」でも本来の「加算先1」と異なる場合は、「加算先1」が「網掛け」表示になります。「勘定科目」で設定されている「加算先1」の分析区分が正しくない場合は、Aiの「科目設定」で「加算情報1」を見直してからコンバートを行ってください。R4へ移行すると、本来の科目性質の集約体系に戻りますので、集計が崩れます。

(この事例の場合は、9115〔一般管理費〕行の「候補(オリジナル)」に何も表示されていないので、「781:支払保険料2」の加算情報1の設定が間違っています。

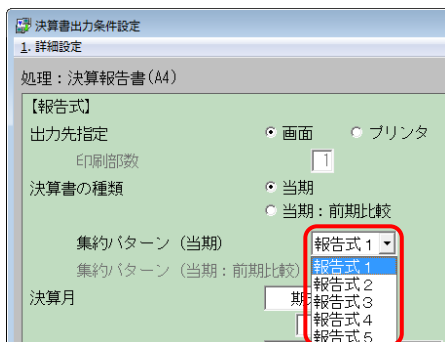
製造原価科目の「支払保険料(分析区分:569)」を一般管理費の科目の集約に入れているため(一般管理費の支払保険料(分析区分:687)、同じ科目名称であっても分析区分が違う)、移行しても以前の様に、9115〔一般管理費〕に集計されません。販売管理費科目を元に、新しい科目を作成しデータ移行、R4側で残高を新科目に入れ直す必要があります。R4側では、科目コードの入替/仕訳の一括置換をすることができます。)

◆ 一般法人データ 決算書出力パターン別移行可能結果

一般法人データの場合は、勘定科目一覧の下に決算書科目設定の確認結果が表示されます。決算書科目が正しく会社法変換されている場合は、○が表示されます。使用している決算書パターンに「○」がついているかを確認してください。使用している決算書集約パターンが×になる場合は、R4では、決算書が正しく集計できません。○の付いている決算書科目をコンバートするようにしてください。

(医療法人データでは、決算書科目の確認結果は表示されません。)

<参考>Ai 決算書の使用パターン確認



一般法人の場合、決算書科目に下記の科目が存在するかチェックします(会社法変換されているかのチェックです)。  
株主資本(合計3)、その他利益剰余金(合計1)、評価・換算差額等(合計3)  
繰延ヘッジ損益、新株予約権

【チェック結果】

| 報告式  | ○ | × | 勘定式  | ○ | × | 比較式  | ○ | × |
|------|---|---|------|---|---|------|---|---|
| 報告式1 |   | × | 勘定式1 |   | × | 比較式1 |   | × |
| 報告式2 |   | × | 勘定式2 |   | × | 比較式2 |   | × |
| 報告式3 |   | × | 勘定式3 |   | × | 比較式3 |   | × |
| 報告式4 |   | × | 勘定式4 |   | × | 比較式4 |   | × |
| 報告式5 |   | ○ | 勘定式5 |   | ○ | 比較式5 |   | ○ |

使用している決算書集約パターンが×になる場合は、「3.4 決算書科目設定」の「集約パターン5の決算書を決算書科目として使用する場合」または「集約パターン5以外の決算書を決算書科目として使用する場合」の手順に従って、決算書科目を見直してからR4へのコンバートを実施してください。集約パターン5の決算書は、会社法対応の集約が簡単に作成できます。(ただし、オリジナルで作成した決算書科目や集約は再作成する必要があります)

# 3

## 会社法変換の手順

財務 R4 システムへコンバートするため、会社法変換する場合は、以下の手順に従って処理をしてください。

### 3.1 会社法変換前のデータを会社法変換する

財務応援 Ai-R4 事前チェックツールで「会社法未変換」のデータのためコンバートできません。」「会社法変換途中」のデータです。コンバートできません。」と表示される場合や、財務応援 Ai 企業会計の会社データを財務 R4 へコンバートする際、「CAIZMOO72「会社法変換未済」のためコンバートできません。」のエラーが発生しコンバートできない場合は、以下の手順に従い、会社法変換を実行してください。



注意

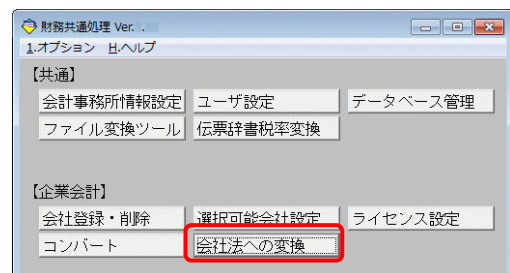
- ◆ 会社法変換を行う前に、該当会社データを必ず[財務共通処理] → [ファイル変換ツール] → [会社保存] でバックアップを取っておいてください。（会社法変換途中でもバックアップを実施しますが、事前に [ファイル変換ツール] でもバックアップを取ってください。）
- ◆ 会社法変換画面では、医療法人用データと会社法未対応の一般法人データの両方が混在表示されます。医療法人用の標準会計をもとに作成した会社データでは、会社法への変換を行わないでください。医療法人データ（病院会計準則データのみ）は、会社法変換をすることなく、財務 R4 にコンバートできます。
- ◆ 会社法変換を行うと管理帳票や決算書の表示が変更されます（会社法に基づいた科目体系に変更するため）。会社法変換前の状態で帳票や決算書を印刷する必要がある場合は、会社法変換を行わないでください。ただし、この場合は、財務 R4 への移行はできません。

#### 操作

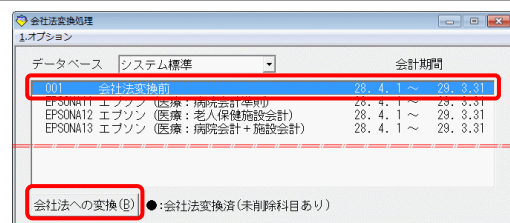
- 1 会社法への変換を行う会社データで決算書科目の集約パターン No.5（報告式 5 / 勘定式 5 / 比較式 5）を使用している場合は、別の集約パターンに複写しておきます。
  - ① [部門別・予算・決算] タブ → [決算書科目設定] を選択
  - ② [1.設定] → [1.帳表区分・集約パターン選択] を選択し、報告書タイプ、集約パターン No.5 を選択
  - ③ [1.設定] → [2.決算書科目複写] を選択し、別の集約パターンに複写

- 2 財務応援 Ai を使用している全てのコンピューターで財務応援 Ai の処理を終了します。

- 3 1 台のコンピューターで [財務共通処理] → [会社法への変換] をクリックします。

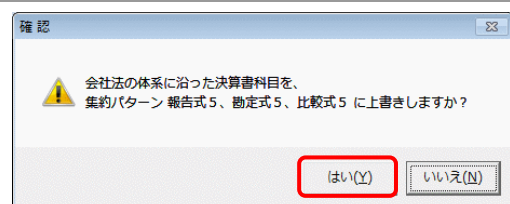


- 4 「会社法変換処理」画面が表示されます。会社法変換を行う会社データを選択して、[会社法への変換] をクリックします。確認メッセージが表示されるので [OK] を押します。
  - ※ 期末年月日が「平成 18 年 5 月 1 日」以降の会社法変換前の会社データが表示されます。

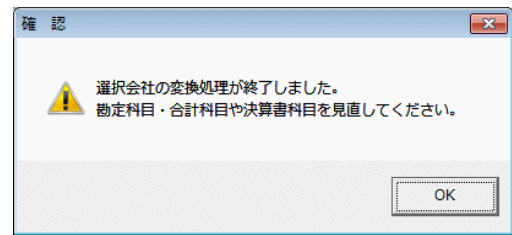


- 5 バックアップを促すメッセージが表示されるので、[はい] を押して、バックアップを作成します。

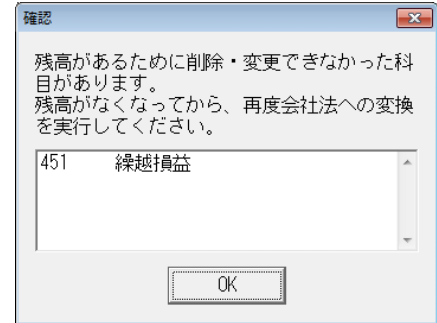
- 6 会社法変換が開始されます。途中、右のメッセージが表示されるので [はい] を押します。



- 7 「選択会社の変換処理が終了しました。」の確認メッセージが表示されるので、[OK]を押します。



残高があるために、科目の削除または「科目使用：しない」への変更が行えなかった場合は、右のような確認メッセージが表示され、「会社法変換処理」画面の会社コードの左に●印が表示されます。このようなデータは、会社法変換が完了していないので、対象科目の残高がクリアされ、会社法変換が完了するまで、財務 R4 にコンバートはできません。



会社法変換により、以下の科目は削除されます。（削除できる状態だった場合のみ）

| コード名称          | 分析区分           |
|----------------|----------------|
| 402 新株式払込金     | 0453 新株式払込金    |
| 463 自己株式払込金    | 0487 自己株式払込金   |
| 956 過年度税効果調整額  | 0815 過年度税効果調整額 |
| 957 自己株式処分差損   | 0837 自己株式処分差損  |
| 958 自己株式消却額等   | 0838 自己株式消却額等  |
| 959 利益準備金取崩額等  | 0839 利益準備金取崩額  |
| 953 積立金目的取崩額   | 0831 積立金目的取崩額  |
| 954 中間配当金      | 0834 中間配当金     |
| 955 利益準備金積立額   | 0836 利益準備金積立額  |
| 9037【新株式払込金】   | 1460 資本金       |
| 9039【自己株式払込金】  | 1460 資本金       |
| 9127〔積立金目的取崩額〕 | 1838 積立金目的取崩額  |
| 9128〔中間配当金〕    | 1840 中間配当金計    |

会社法変換処理により「科目使用：しない」に変更されています。（「科目使用：しない」に変更できる状態だった場合のみ）

| コード名称         | 分析区分            |
|---------------|-----------------|
| 451 繰越損益      | 0479 繰越損益       |
| 9126 前期繰越利益   | 1835 P/L 前期繰越利益 |
| 9129【当期末処分利益】 | 1850 当期末処分利益    |

## 3.2 科目追加・変更、分析区分変更

〔会社法への変換〕直後および、財務応援 Ai-R4 事前チェックツールの Excel 結果ファイルで「会社法変換途中／会社法変換途中(繰延ヘッジ損益等の科目なし)／会社法変換されていない」データです。」と表示されている一般企業法人データは、勘定科目の会社法設定が正しく対応されていません。科目設定画面で、合計科目および勘定科目の追加・変更を行います。

下記の表に記載した合計科目および勘定科目を、表の記載内容のように追加・変更してください。現状使用していない科目でも、特に指示がなければ追加・変更を必ず実施してください。

- ※ 表内の科目コードおよび名称は、標準科目コードおよび標準科目名称です。科目コードや名称を変更している場合は、分析区のコード／名称で確認ください。
- ※ 「追加する科目」の赤字下線の項目は、科目を追加する際に、追加元科目から変更する項目です。表には記載されていない項目が実際の科目追加画面にはありますが、特に記載がない限り追加元科目と同じ設定にしてください。
- ※ 科目・変更を追加するとき、この資料に記載された追加・変更元科目コードがない場合は、分析区分が同じ科目を追加・変更元にしてください。

### 合計科目

#### ■追加する合計科目

| 追加元科目            |                | 追加する科目         |                |      |
|------------------|----------------|----------------|----------------|------|
| コード名称            | 分析区分           | コード名称          | 加算情報1          | 網掛情報 |
| 9032【資本合計】       | 1500 純資産合計     | 9042【株主資本】     | 9032【資本合計】     | 部分淡  |
|                  |                | 9043【評価・換算差額等】 | 9032【資本合計】     | 部分淡  |
|                  |                | 9044【新株予約権】    | 9032【資本合計】     | 部分淡  |
| 9031【利益剰余金】      | 1490 利益剰余金合計   | 9045【その他利益剰余金】 | 9031【利益剰余金】*1  | なし   |
| 9035【他有価証券評価差額金】 | 1495 評価差額金合計*2 | 9046【繰延ヘッジ損益】  | 9043【評価・換算差額等】 | 部分淡  |

\*1 科目コード「9031」の名称が「【剰余金】」となっている場合があります。

\*2 「9035【他有価証券評価差額金】」(または、9035【評価差額金】)という科目が存在しない場合もあります。その場合は、「9031【利益剰余金】(分析区分 1490)」(または、9031【剰余金】)を追加元にしてください。

#### 操 作

- 1 [設定(科目等)]タブの[科目設定]を開きます。
- 2 追加元科目を選択して[追加]をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。
- 3 追加する科目の科目コード、科目名を登録します。必要に応じて加算情報、網掛情報等を変更します。
- 4 [継続]をクリックします。[設定終了]をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。[はい]をクリックします。

#### ■変更する合計科目

| 変更科目           |                | 変更内容                                            |
|----------------|----------------|-------------------------------------------------|
| コード名称          | 分析区分           |                                                 |
| 9027【資本金】      | 1460 資本金       | 加算情報1を9042【株主資本】に変更                             |
| 9038【新株式申込証拠金】 | 1460 資本金       | 加算情報1を9042【株主資本】に変更*1                           |
| 9028【資本剰余金】    | 1470 資本剰余金合計   | 加算情報1を9042【株主資本】に変更<br>名称が【法定準備金】の場合は【資本剰余金】に変更 |
| 9029 当期末処分利益   | 1480 繰越利益剰余金合計 | 名称を「繰越利益剰余金」に変更<br>加算情報1を9045【その他利益剰余金】に変更      |

| 変更科目             |               | 変更内容                                                                   |
|------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------|
| コード名称            | 分析区分          |                                                                        |
| 9031【利益剰余金】      | 1490 利益剰余金合計  | 加算情報1を9042【株主資本】に変更<br>名称が【剰余金】の場合は【利益剰余金】に変更                          |
| 9035【他有価証券評価差額金】 | 1495 評価差額金合計  | 加算情報1を9043【評価・換算差額等】に変更 <sup>*1</sup><br>名称が【評価差額金】の場合は【他有価証券評価差額金】に変更 |
| 9040【自己株式申込証拠金】  | 1460 資本金      | 加算情報1を9042【株主資本】に変更 <sup>*1</sup>                                      |
| 9036【自己株式】       | 1497 自己株式合計   | 加算情報1を9042【株主資本】に変更 <sup>*1</sup>                                      |
| 9032【資本合計】       | 1500 純資産合計    | 名称を【純資産合計】に変更                                                          |
| 9033【負債・資本合計】    | 1510 負債・純資産合計 | 名称を【負債・純資産合計】に変更                                                       |

\*1 科目が存在しない場合もあります。使用しない場合は、作成する必要はありません。

#### 操 作

- 1 [設定（科目等）] タブの [科目設定] を開きます。
- 2 変更する科目を選択して [変更] をクリックします。
- 3 加算情報等を変更します。 [OK] をクリックします。

#### ■分析区分を変更する合計科目

| 変更する合計科目       | 変更後の分析区分        |
|----------------|-----------------|
| 9042【株主資本】     | 1496 株主資本合計     |
| 9043【評価・換算差額等】 | 1498 評価・換算差額等合計 |
| 9044【新株予約権】    | 1499 新株予約権合計    |
| 9045【その他利益剰余金】 | 1492 その他利益剰余金計  |
| 9046【繰延ヘッジ損益】  | 1493 繰延ヘッジ損益合計  |

#### 操 作

- 1 [設定（科目等）] タブの [科目設定] を開きます。
- 2 分析区分を変更する科目を選択して [変更] をクリックします。
- 3 [分析区分変更] をクリックします。分析区分変更画面が表示されます。
- 4 変更先分析区分欄を選択して [一覧] をクリックします。変更可能分析区分画面が表示されます。
- 5 変更後の分析区分を選択して [OK] をクリックします。
- 6 分析区分変更画面に戻ります。「変更先分析区分」の欄の表示が正しく変更されたことを確認して、 [OK] をクリックします。
- 7 科目変更画面に戻ります。分析区分の表示が正しく変更されていることを確認して、 [OK] をクリックします。

## 勘定科目

### ■追加する勘定科目

| 追加元科目             |                | 追加する科目        |               |      |      |
|-------------------|----------------|---------------|---------------|------|------|
| コード名称             | 分析区分           | コード名称         | 加算情報1         | 貸借性質 | △印出力 |
| 250 その他無形固定資産     | 0304 その他無形固定資産 | 242 ソフトウェア *1 | 9018 〔無形固定資産〕 | 借方   | しない  |
| 461 他有価証券評価差額金 *2 | 0482 有価証券評価差額  | 465 繰延ヘッジ損益   | 9046【繰延ヘッジ損益】 | 貸方   | しない  |
|                   |                | 466 新株予約権     | 9044【新株予約権】   | 貸方   | しない  |
|                   |                | 467 自己新株予約権   | 9044【新株予約権】   | 借方   | する   |
| 711 役員報酬          | 0651 役員報酬      | 721 役員賞与 *3   | 9113 〔人件費〕    | 借方   | しない  |

\*1 会社法とは関係ありませんが、必要に応じて追加してください。

\*2 この科目が存在しない場合もあります。その場合は、「430 その他任意積立金」(分析区分コード 0476)を追加元にしてください。また、科目コード「461」の名称が「有価証券評価差額」となっている場合は、名称を「他有価証券評価差額金」に変更してください。

\*3 会社によっては、製造原価にも追加する場合があります。

### ■変更する勘定科目

| 変更科目         |               | 変更内容                    |
|--------------|---------------|-------------------------|
| コード名称        | 分析区分          |                         |
| 421 退職給与積立金  | 0471 退職給与積立金  | 加算情報1を9045〔その他利益剰余金〕に変更 |
| 422 別途積立金    | 0475 別途積立金    | 加算情報1を9045〔その他利益剰余金〕に変更 |
| 430 その他任意積立金 | 0476 その他任意積立金 | 加算情報1を9045〔その他利益剰余金〕に変更 |
| 452 未処分損益    | 0480 繰越利益剰余金  | 名称を繰越利益剰余金に変更           |

### ■分析区分を変更する勘定科目

| 変更する勘定科目      | 変更後の分析区分     |
|---------------|--------------|
| 242 ソフトウェア *1 | 0305 ソフトウェア  |
| 465 繰延ヘッジ損益   | 0491 繰延ヘッジ損益 |
| 466 新株予約権     | 0492 新株予約権   |
| 467 自己新株予約権   | 0493 自己新株予約権 |
| 721 役員賞与      | 0661 役員賞与    |

\*1 会社法とは関係ありませんが、勘定科目「ソフトウェア」を登録してある場合は、分析区分を変更してください。勘定科目がなければ、対応する必要はありません。



### 3.3 科目出力方法設定

科目出力方法設定画面で、合計科目および勘定科目の出力順を下記のように変更します。

- ※ 下記の並び順は、位置を変更する科目およびその前後の科目だけを記載しています。  
コードの左側に○印のある科目は、科目設定で追加した科目です。
- ※ 下記の並び順に記載した科目でも、運用によっては存在しない場合があります。
- ※ 「未使用」「未使用または削除」の科目は、会社法適用後は使用しません。

| コード    | 名称           |          |
|--------|--------------|----------|
| (略)    |              |          |
| 401    | 資本金          |          |
| 9027   | 【資本金】        |          |
| 402    | 新株式払込金       | 未使用または削除 |
| 9037   | 【新株式払込金】     | 未使用または削除 |
| 403    | 新株式申込証拠金     |          |
| 9038   | 【新株式申込証拠金】   |          |
| 411    | 資本準備金        |          |
| 413    | 資本・資本準備金減少差益 |          |
| 414    | 自己株式処分差益     |          |
| 9041   | 〔その他資本剰余金〕   |          |
| 9028   | 【資本剰余金】      |          |
| 412    | 利益準備金        |          |
| 421    | 退職給与積立金      |          |
| 422    | 別途積立金        |          |
| 430    | その他任意積立金     |          |
| 451    | 繰越損益         | 未使用      |
| 452    | 繰越利益剰余金      | 名称変更     |
| 9029   | 繰越利益剰余金      | 名称変更     |
| 9030   | (うち当期純利益)    | 未使用      |
| ○ 9045 | 〔その他利益剰余金〕   |          |
| 9031   | 【利益剰余金】      |          |
| 462    | 自己株式         |          |
| 9036   | 【自己株式】       |          |
| 463    | 自己株式払込金      | 未使用または削除 |
| 9039   | 【自己株式払込金】    | 未使用または削除 |
| 464    | 自己株式申込証拠金    |          |
| 9040   | 【自己株式申込証拠金】  |          |
| ○ 9042 | 【株主資本】       |          |
| 461    | 他有価証券評価差額金   |          |
| 9035   | 【他有価証券評価差額金】 |          |
| ○ 465  | 繰延ヘッジ損益      |          |
| ○ 9046 | 【繰延ヘッジ損益】    |          |
| ○ 9043 | 【評価・換算差額等】   |          |
| ○ 466  | 新株予約権        |          |
| ○ 467  | 自己新株予約権      |          |
| ○ 9044 | 【新株予約権】      |          |
| 9032   | 【純資産合計】      | 名称変更     |
| 9033   | 【負債・純資産合計】   | 名称変更     |
| 9034   | 【貸借合計】       |          |
| (略)    |              |          |

## 操 作

- 1** [設定（科目等）] タブの [科目出力方法設定] を開きます。
- 2** 移動する科目を一覧から探して選択します。 [移動] をクリックします。
- 3** 移動した場合に下になる科目を選択します。 [OK] をクリックします。
- 4** 確認画面が表示されます。表示された内容を確認して、 [OK] をクリックします。
- 5** 科目が移動するので内容を確認します。  
②～④の操作を繰り返し、前述のような並び順に変更します。

## 3.4 決算書科目設定

### ◆ 集約パターン5を決算書科目として使用する場合

会社法変換実行時に新しい決算書科目を集約パターン5に上書きした場合は、その集約パターンを利用できます。  
[会社法への変換]で上書きした集約パターン5では、以下の設定が必要です。

【追加】

- ・集約元勘定科目の追加

#### ■ 帳表区分：貸借対照表（資産の部）

| 決算書科目        | 追加する集約元勘定科目 |
|--------------|-------------|
| 00352 ソフトウェア | 242 ソフトウェア  |

\*1 会社法とは関係ありませんが、必要に応じて追加してください。勘定科目がなければ、対応する必要はありません。

#### ■ 帳表区分：貸借対照表（負債・純資産の部）

| 決算書科目         | 追加する集約元勘定科目           |
|---------------|-----------------------|
| 00370 繰延ヘッジ損益 | 465 繰延ヘッジ損益           |
| 00380 【新株予約権】 | 466 新株予約権、467 自己新株予約権 |

#### ■ 帳表区分：販売費及び一般管理費内訳書

| 決算書科目      | 追加する集約元勘定科目 |
|------------|-------------|
| 00015 役員賞与 | 721 役員賞与    |

#### ■ 帳表区分：株主資本等変動計算書

| 決算書科目         | 追加する集約元勘定科目           |
|---------------|-----------------------|
| 00370 繰延ヘッジ損益 | 465 繰延ヘッジ損益           |
| 00380 【新株予約権】 | 466 新株予約権、467 自己新株予約権 |

### 操 作

- 1 [事業別・予算・決算] タブの [決算書科目設定] を開きます。
- 2 [1.設定] → [1.帳表区分・集約パターン選択] を選択します。
- 3 帳表区分・集約パターン選択画面で設定を行う報告書タイプ・集約パターン「〇〇式5」・帳表区分を選択し、[OK] をクリックします。
- 4 決算書科目設定画面で、集約元勘定科目を変更する決算書科目を選択します。
- 5 [集約元勘定科目設定] をクリックします。
- 6 【集約可能勘定科目】の一覧画面から集約元に追加する勘定科目を選択します。
- 7 [↑集約元設定] をクリックします。
- 8 [設定終了] をクリックします。確認画面が表示されるので [はい] をクリックします。



◆ 会社法変換前に任意に追加した決算書科目がある場合は、集約パターン5に追加する必要があります。



財務R4へのコンバート時、「決算報告書の種類選択」画面では、集約パターン5の決算報告書を選択するようにしてください。

## ◆ 集約パターン5以外の決算書を決算書科目として使用する場合

会社法変換前に使用していた決算書科目で、複数の決算書科目を追加した等の理由により、集約パターン5以外の決算書科目を財務 R4 にコンバートしたい場合は、以下の設定が必要です。

### 報告式の場合

#### ■ 帳表区分：貸借対照表（資産の部）

【追加】

- ・ 決算書科目の複写追加

| 追加元決算書科目    | 性質   | 追加決算書科目      | 加算情報           |
|-------------|------|--------------|----------------|
| 00350 電話加入権 | 通常科目 | 00352 ソフトウェア | 04020 無形固定資産合計 |

\*1 会社法とは関係ありませんが、必要に応じて追加してください。勘定科目がなければ、対応する必要はありません。

### 操 作

- 1 [事業別・予算・決算] タブの [決算書科目設定] を開きます。
- 2 [1.設定] → [1.帳表区分・集約パターン選択] を選択します。
- 3 帳表区分・集約パターン選択画面で設定を行う報告書タイプ・集約パターン・帳表区分を選択し、[OK] をクリックします。
- 4 追加元決算書科目を選択し、[複写追加] をクリックします。
- 5 「決算書科目追加」画面が表示されます。  
決算書科目コード、決算書科目名、加算情報を登録し、[継続] をクリックします。
- 6 [設定終了] をクリックします。確認画面が表示されるので [はい] をクリックします。

- ・ 集約元勘定科目の追加

| 決算書科目        | 追加する集約元勘定科目 |
|--------------|-------------|
| 00352 ソフトウェア | 242 ソフトウェア  |

#### ■ 帳表区分：貸借対照表（負債・純資産の部）

【追加】

- ・ 決算書科目の新規追加

| 追加元決算書科目       | 性質   | 追加決算書科目          | 加算情報             |
|----------------|------|------------------|------------------|
| 11020 【株主資本】   | 合計 3 | 11020 【株主資本】     | 12020 資本合計       |
| 05020 その他利益剰余金 | 合計 1 | 05020 (その他利益剰余金) | 07060 【利益剰余金】    |
| 10010 株主資本合計   | 合計科目 | 10010 株主資本合計     | 11020 【株主資本】     |
| 11020 【株主資本】   | 合計 3 | 11030 【評価・換算差額等】 | 12020 資本合計       |
| 10010 株主資本合計   | 合計科目 | 10020 評価・換算差額等合計 | 11030 【評価・換算差額等】 |
| 07040 資本金      | 合計 2 | 07130 【繰延ヘッジ損益】  | 10020 評価・換算差額等合計 |
| 00230 利益準備金    | 通常科目 | 00370 繰延ヘッジ損益    | 07130 【繰延ヘッジ損益】  |
| 00230 利益準備金    | 通常科目 | 00380 【新株予約権】    | 12020 資本合計       |

### 操 作

- 1 [新規追加] をクリックし、追加元決算書科目を選択し、[OK] をクリックします。
- 2 「決算書科目追加」画面が表示されます。  
決算書科目コード、決算書科目名、加算情報を登録し、[継続] をクリックします。
- 3 [設定終了] をクリックします。確認画面が表示されるので [はい] をクリックします。

・集約元勘定科目の追加

| 決算書科目              | 追加する集約元勘定科目           |
|--------------------|-----------------------|
| 00300 資本・資本準備金減少差益 | 414 自己株式処分差益          |
| 00370 繰延ヘッジ損益      | 465 繰延ヘッジ損益           |
| 00380〔新株予約権〕       | 466 新株予約権、467 自己新株予約権 |

操 作

- 1 決算書科目設定画面で、集約元勘定科目を変更する決算書科目を選択します。
- 2 〔集約元勘定科目設定〕をクリックします。
- 3 〔集約可能勘定科目〕の一覧画面から集約元に追加する勘定科目を選択します。
- 4 〔↑集約元設定〕をクリックします。
- 5 〔設定終了〕をクリックします。確認画面が表示されるので〔はい〕をクリックします。

【変更】

| 決算書科目              | 変更する内容                                                 |
|--------------------|--------------------------------------------------------|
| 13020 資本の部         | 名称：純資産の部                                               |
| 07040【資本金】         | 加算情報：10010 株主資本合計                                      |
| 07100【新株式申込証拠金】    | 加算情報：10010 株主資本合計                                      |
| 07050【資本剰余金】       | 名称：【法定準備金】の場合は【資本剰余金】に変更                               |
| 00300 資本・資本準備金減少差益 | 名称：その他資本剰余金<br>加算情報：07050【資本剰余金】                       |
| 09050 資本剰余金合計      | 加算情報：10010 株主資本合計                                      |
| 07060【利益剰余金】       | 名称：【剰余金】の場合は【利益剰余金】に変更                                 |
| 00240 退職給与積立金      | 加算情報：05020（その他利益剰余金）                                   |
| 00250 別途積立金        | 加算情報：05020（その他利益剰余金）                                   |
| 00260 その他任意積立金     | 加算情報：05020（その他利益剰余金）                                   |
| 00270 当期末処分利益      | 名称：繰越利益剰余金<br>加算情報：05020（その他利益剰余金）                     |
| 09060 利益剰余金合計      | 加算情報：10010 株主資本合計                                      |
| 07070【他有価証券評価差額金】  | 名称：【評価差額金】の場合は【他有価証券評価差額金】に変更<br>加算情報：10020 評価・換算差額等合計 |
| 00290 他有価証券評価差額金   | 名称：その他有価証券評価差額金<br>金額出力：する、科目出力：する                     |
| 07120【自己株式申込証拠金】   | 加算情報：10010 株主資本合計                                      |
| 07080【自己株式】        | 加算情報：10010 株主資本合計                                      |
| 12020 資本合計         | 名称：純資産合計                                               |
| 14010 負債・資本合計      | 名称：負債・純資産合計                                            |

操 作

- 1 決算書科目設定画面で、変更する決算書科目を選択します。
- 2 〔変更〕をクリックします。  
加算情報等を変更して、〔OK〕をクリックします。

【削除】

以下の決算書科目がある場合は、削除をしてください。

| 決算書科目           |
|-----------------|
| 07090【新株式払込金】   |
| 00330 新株式払込金    |
| 05010（その他資本剰余金） |
| 00310 自己株式処分差益  |
| 07110【自己株式払込金】  |
| 00350 自己株式払込金   |

操 作

**1** 決算書科目設定画面で、削除する決算書科目を選択します。

**2** 「削除」をクリックします。  
メッセージを確認して、「OK」をクリックします。

・表示順

表示順を下記のとおり変更してください。

※ 下記の並び順は、位置を変更する決算書科目およびその前後の決算書科目だけを記載しています。

コードの左側に○印のある決算書科目は、決算書科目設定で追加した科目です。

※ 下記の並び順に記載した決算書科目でも、運用によっては存在しない場合があります。

| コード     | 名称         |      |
|---------|------------|------|
|         | (略)        |      |
| 13020   | 純資産の部      | 名称変更 |
| ○ 11020 | 〔株主資本〕     |      |
| 07040   | 【資本金】      |      |
| 00210   | * 資本金      |      |
| 07090   | 【新株式払込金】   | 削除   |
| 00330   | * 新株式払込金   | 削除   |
| 07100   | 【新株式申込証拠金】 |      |
| 00340   | * 新株式申込証拠金 |      |
| 07050   | 【資本剰余金】    |      |
| 00220   | * 資本準備金    |      |
| 05010   | (その他資本剰余金) | 削除   |
| 00300   | * その他資本剰余金 | 名称変更 |
| 00310   | * 自己株式処分差益 | 削除   |
| 09050   | 資本剰余金合計    |      |
| 07060   | 【利益剰余金】    |      |
| 00230   | * 利益準備金    |      |
| ○ 05020 | (その他利益剰余金) |      |
| 00240   | * 退職給与積立金  |      |
| 00250   | * 別途積立金    |      |
| 00260   | * その他任意積立金 |      |
| 00270   | 繰越利益剰余金    | 名称変更 |
| 09060   | 利益剰余金合計    |      |
| 07080   | 【自己株式】     |      |
| 00320   | * 自己株式     |      |

空行は「新規追加」で追加元決算書科目に00001を入力すると追加できます。

|   |       |                |      |
|---|-------|----------------|------|
|   | 07110 | 【自己株式払込金】      | 削除   |
|   | 00350 | * 自己株式払込金      | 削除   |
|   | 07120 | 【自己株式申込証拠金】    |      |
|   | 00360 | * 自己株式申込証拠金    |      |
| ○ | 10010 | 株主資本合計         |      |
|   |       |                |      |
| ○ | 11030 | 〔評価・換算差額等〕     |      |
|   | 07070 | 【他有価証券評価差額金】   |      |
|   | 00290 | * その他有価証券評価差額金 | 名称変更 |
| ○ | 07130 | 【繰延ヘッジ損益】      |      |
| ○ | 00370 | * 繰延ヘッジ損益      |      |
| ○ | 10020 | 評価・換算差額合計      |      |
| ○ | 00380 | * 〔新株予約権〕      |      |
|   | 12020 | 純資産合計          | 名称変更 |
|   | 14010 | 負債・純資産合計       | 名称変更 |

## 操 作

- 1** 決算書科目設定画面で、移動する決算書科目を選択します。
- 2** 移動した場合に下になる決算書科目を選択します。〔OK〕をクリックします。
- 3** 確認画面が表示されます。表示された内容を確認して、〔OK〕をクリックします。
- 4** 決算書科目が移動するので内容を確認します。  
①～③の操作を繰り返し、前述のような並び順に変更します。

### ■帳表区分：損益計算書

#### 【削除】

以下の決算書科目がある場合は、削除をしてください。

| 決算書科目           |
|-----------------|
| 13010 経常損益の部    |
| 11010 (営業損益の部)  |
| 11020 (営業外損益の部) |
| 13020 特別損益の部    |

### ■帳表区分：販売費及び一般管理費内訳書

#### 【追加】

- ・決算書科目の複写追加

| 追加元決算書科目   | 性質   | 追加決算書科目    | 加算情報     |
|------------|------|------------|----------|
| 00010 役員報酬 | 通常科目 | 00015 役員賞与 | 12010 合計 |

- ・集約元勘定科目の追加

| 決算書科目      | 追加する集約元勘定科目 |
|------------|-------------|
| 00015 役員賞与 | 721 役員賞与    |

### ■帳表区分：株主資本等変動計算書

#### 【追加】

- ・集約元勘定科目の追加

| 決算書科目         | 追加する集約元勘定科目           |
|---------------|-----------------------|
| 00370 繰延ヘッジ損益 | 465 繰延ヘッジ損益           |
| 00380 【新株予約権】 | 466 新株予約権、467 自己新株予約権 |

## 勘定式／比較式の場合

### ■帳表区分：貸借対照表（資産の部）

【追加】

- ・決算書科目の複写追加

| 追加元決算書科目    | 性質   | 追加決算書科目      | 加算情報          |
|-------------|------|--------------|---------------|
| 00350 電話加入権 | 通常科目 | 00352 ソフトウェア | 05020（無形固定資産） |

\*1 会社法とは関係ありませんが、必要に応じて追加してください。勘定科目がなければ、対応する必要はありません。

### 操 作

- 1 [事業別・予算・決算] タブの [決算書科目設定] を開きます。
- 2 [1.設定] → [1.帳表区分・集約パターン選択] を選択します。
- 3 帳表区分・集約パターン選択画面で設定を行う報告書タイプ・集約パターン・帳表区分を選択し、[OK] をクリックします。
- 4 追加元決算書科目を選択し、[複写追加] をクリックします。
- 5 「決算書科目追加」画面が表示されます。  
決算書科目コード、決算書科目名、加算情報を登録し、[継続] をクリックします。
- 6 [設定終了] をクリックします。確認画面が表示されるので [はい] をクリックします。

- ・集約元勘定科目の追加

| 決算書科目        | 追加する集約元勘定科目 |
|--------------|-------------|
| 00352 ソフトウェア | 242 ソフトウェア  |

### ■帳表区分：貸借対照表（負債・純資産の部）

【追加】

- ・決算書科目の新規追加

| 追加元決算書科目       | 性質   | 追加決算書科目         | 加算情報            |
|----------------|------|-----------------|-----------------|
| 11020【株主資本】    | 合計3  | 11020【株主資本】     | 12020 資本合計      |
| 05020 その他利益剰余金 | 合計1  | 05020（その他利益剰余金） | 07060【利益剰余金】    |
| 11020【株主資本】    | 合計3  | 11030〔評価・換算差額等〕 | 12020 資本合計      |
| 07020 資本金      | 合計2  | 07130【繰延ヘッジ損益】  | 11030〔評価・換算差額等〕 |
| 00230 利益準備金    | 通常科目 | 00370 繰延ヘッジ損益   | 07130【繰延ヘッジ損益】  |
| 00230 利益準備金    | 通常科目 | 00380〔新株予約権〕    | 12020 資本合計      |

### 操 作

- 1 [新規追加] をクリックし、追加元決算書科目を選択、[OK] をクリックします。
- 2 「決算書科目追加」画面が表示されます。  
決算書科目コード、決算書科目名、加算情報を登録し、[継続] をクリックします。
- 3 [設定終了] をクリックします。確認画面が表示されるので [はい] をクリックします。



・集約元勘定科目の追加

| 決算書科目              | 追加する集約元勘定科目           |
|--------------------|-----------------------|
| 00300 資本・資本準備金減少差益 | 414 自己株式処分差益          |
| 00370 繰延ヘッジ損益      | 465 繰延ヘッジ損益           |
| 00380 [新株予約権]      | 466 新株予約権、467 自己新株予約権 |

操 作

- 1** 決算書科目設定画面で、集約元勘定科目を変更する決算書科目を選択します。
- 2** [集約元勘定科目設定] クリックします。
- 3** 【集約可能勘定科目】の一覧画面から集約元に追加する勘定科目を選択します。
- 4** [↑集約元設定] クリックします。
- 5** [設定終了] をクリックします。確認画面が表示されるので [はい] をクリックします。

【変更】

| 決算書科目              | 変更する内容                                                 |
|--------------------|--------------------------------------------------------|
| 13020 資本の部         | 名称：純資産の部                                               |
| 07040 【資本金】        | 加算情報：11020 【株主資本】                                      |
| 07100 【新株式申込証拠金】   | 加算情報：11020 【株主資本】                                      |
| 07050 【資本剰余金】      | 名称：【法定準備金】の場合は【資本剰余金】に変更<br>加算情報：11020 【株主資本】          |
| 00300 資本・資本準備金減少差益 | 名称：その他資本剰余金<br>加算情報：07050 【資本剰余金】                      |
| 07060 【利益剰余金】      | 名称：【剰余金】の場合は【利益剰余金】に変更<br>加算情報：11020 【株主資本】            |
| 00240 退職給与積立金      | 加算情報：05020 (その他利益剰余金)                                  |
| 00250 別途積立金        | 加算情報：05020 (その他利益剰余金)                                  |
| 00260 その他任意積立金     | 加算情報：05020 (その他利益剰余金)                                  |
| 00270 当期末処分利益      | 名称：繰越利益剰余金<br>加算情報：05020 (その他利益剰余金)                    |
| 07070 【他有価証券評価差額金】 | 名称：【評価差額金】の場合は【他有価証券評価差額金】に変更<br>加算情報：11030 [評価・換算差額等] |
| 00290 他有価証券評価差額金   | 名称：その他有価証券評価差額金<br>金額出力：する、科目出力：する                     |
| 07120 【自己株式申込証拠金】  | 加算情報：11020 【株主資本】                                      |
| 07080 【自己株式】       | 加算情報：11020 【株主資本】                                      |
| 12020 資本合計         | 名称：純資産合計                                               |
| 14010 負債・資本合計      | 名称：負債・純資産合計                                            |

操 作

- 1** 決算書科目設定画面で、変更する決算書科目を選択します。
- 2** [変更] をクリックします。  
加算情報等を変更して、[OK] をクリックします。

【削除】

以下の決算書科目がある場合は、削除をしてください。

| 決算書科目           |
|-----------------|
| 07090【新株式払込金】   |
| 00330 新株式払込金    |
| 05010（その他資本剰余金） |
| 00310 自己株式処分差益  |
| 07110【自己株式払込金】  |
| 00350 自己株式払込金   |

操 作

**1** 決算書科目設定画面で、削除する決算書科目を選択します。

**2** 「削除」をクリックします。  
メッセージを確認して、「OK」をクリックします。

・表示順

表示順を下記のとおり変更してください。

※ 下記の並び順は、位置を変更する決算書科目およびその前後の決算書科目だけを記載しています。

コードの左側に○印のある決算書科目は、決算書科目設定で追加した科目です。

※ 下記の並び順に記載した決算書科目でも、運用によっては存在しない場合があります。

| コード | 名称                 |      |
|-----|--------------------|------|
|     | (略)                |      |
|     | 13020 純資産の部        | 名称変更 |
| ○   | 11020 【株主資本】       |      |
|     | 07040 【資本金】        |      |
|     | 00210 * 資本金        |      |
|     | 07090 【新株式払込金】     | 削除   |
|     | 00330 * 新株式払込金     | 削除   |
|     | 07100 【新株式申込証拠金】   |      |
|     | 00340 * 新株式申込証拠金   |      |
|     | 07050 【資本剰余金】      |      |
|     | 00220 * 資本準備金      |      |
|     | 05010 (その他資本剰余金)   | 削除   |
|     | 00300 その他資本剰余金     | 名称変更 |
|     | 00310 * 自己株式処分差益   | 削除   |
|     | 07060 【利益剰余金】      |      |
|     | 00230 * 利益準備金      |      |
| ○   | 05020 (その他利益剰余金)   |      |
|     | 00240 * 退職給与積立金    |      |
|     | 00250 * 別途積立金      |      |
|     | 00260 * その他任意積立金   |      |
|     | 00270 繰越利益剰余金      | 名称変更 |
|     | 07080 【自己株式】       |      |
|     | 00320 * 自己株式       |      |
|     | 07110 【自己株式払込金】    | 削除   |
|     | 00350 * 自己株式払込金    | 削除   |
|     | 07120 【自己株式申込証拠金】  |      |
|     | 00360 * 自己株式申込証拠金  |      |
| ○   | 11030 [評価・換算差額等]   |      |
|     | 07070 【他有価証券評価差額金】 |      |

|   |       |                |      |
|---|-------|----------------|------|
| ○ | 00290 | * その他有価証券評価差額金 | 名称変更 |
| ○ | 07130 | 【繰延ヘッジ損益】      |      |
| ○ | 00370 | * 繰延ヘッジ損益      |      |
| ○ | 00380 | * 〔新株予約権〕      |      |
|   | 12020 | 純資産合計          | 名称変更 |
|   | 14010 | 負債・純資産合計       | 名称変更 |

## 操 作

- 1** 決算書科目設定画面で、移動する決算書科目を選択します。
- 2** 移動した場合に下になる決算書科目を選択します。〔OK〕をクリックします。
- 3** 確認画面が表示されます。表示された内容を確認して、〔OK〕をクリックします。
- 4** 決算書科目が移動するので内容を確認します。  
①～③の操作を繰り返し、前述のような並び順に変更します。

### ■帳表区分：損益計算書

#### 【削除】

以下の決算書科目がある場合は、削除をしてください。

| 決算書科目           |
|-----------------|
| 13010 経常損益の部    |
| 11010 (営業損益の部)  |
| 11020 (営業外損益の部) |
| 13020 特別損益の部    |

### ■帳表区分：販売費及び一般管理費内訳書

#### 【追加】

- ・決算書科目の複写追加

| 追加元決算書科目   | 性質   | 追加決算書科目    | 加算情報     |
|------------|------|------------|----------|
| 00010 役員報酬 | 通常科目 | 00015 役員賞与 | 12010 合計 |

- ・集約元勘定科目の追加

| 決算書科目      | 追加する集約元勘定科目 |
|------------|-------------|
| 00015 役員賞与 | 721 役員賞与    |

### ■帳表区分：株主資本等変動計算書

#### 【追加】

- ・集約元勘定科目の追加

| 決算書科目         | 追加する集約元勘定科目           |
|---------------|-----------------------|
| 00370 繰延ヘッジ損益 | 465 繰延ヘッジ損益           |
| 00380 【新株予約権】 | 466 新株予約権、467 自己新株予約権 |

## 3.5 キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書を使用する場合は、キャッシュフロー計算書メニューで以下の設定を行います。

### ■キャッシュフロー科目対応

キャッシュフロー科目対応画面で、以下の科目について赤字下線のように変更します。

| 科目          | 区        | C/F 計算書科目(借)          | C/F 計算書科目(貸)          | 内訳内容 |
|-------------|----------|-----------------------|-----------------------|------|
| 465 繰延ヘッジ損益 | <u>2</u> |                       | <u>310 その他の増減額</u>    |      |
| 466 新株予約権   | <u>2</u> |                       | <u>307 株式の発行による収入</u> |      |
| 467 自己新株予約権 | <u>2</u> | <u>307 株式の発行による収入</u> |                       |      |

### 操 作

- 1 [事業別・予算・決算] タブの [キャッシュフロー計算書] を開きます。
- 2 設定の [キャッシュフロー科目対応] を開きます。  
科目を選択し、内容を変更します。
- 3 [設定終了] をクリックします。確認画面が表示されるので [はい] をクリックします。

以上